

重点施策	2	スポーツ環境の整備
目標像	本市の豊かな自然や都市環境の優位性を活かすとともに、市民の多様なニーズに適応し、市民が継続的にスポーツに取り組むことができる活動の拠点が整備されている。	

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 本市のスポーツ施設は老朽化が進み、施設の整備・改修が必要になっており、これに伴って財政負担が増加し、財源確保が課題となっている。 東光スポーツ公園については、基本計画に基づき施設整備を継続しており、令和元年度に軟式野球場（第三球場）、令和2年度に武道館が完成したが、厳しい財政状況のため、基本計画に掲載されている一部事業が残っている。 本市のスポーツ施設は、多様化する住民ニーズにより効果的・効率的に対応するため、指定管理者などにより管理運営が行われているが、少子高齢化や市民ニーズの変化に対応したサービスの充実が求められている。
-------	---

指標	1	市有施設の利用者数(利用率も検討)
	2	運動・スポーツを行いたい時に場所を確保できる市民の割合
	3	

番号	施策の柱	内容	展開施策	取組内容	国の第3期スポーツ基本計画	備考
1	・スポーツ施設の整備推進	市内におけるスポーツ施設の利用状況や老朽化の進行状況などを踏まえ、旭川市公共施設等総合管理計画や公共施設等総合管理計画アクションプログラムなどに基づき、老朽化したスポーツ施設の安全性確保や長寿命化に向けた改修を進めるとともに、更なるスポーツ推進を図るため、市民ニーズに対応した新たな施設整備について検討する。	①スポーツ施設の老朽化対応(既存施設)	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化が進行している施設について、利用者の安全を確保するため、必要な整備・改修を計画的に実施する。 誰もがスポーツを行いやすい環境を整備するため、施設のバリアフリー化やユニバーサルデザインについて検討する。 閉校となった学校施設など、スポーツ施設以外の既存施設の有効活用について検討する。 	⑩スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設の老朽化及び財政負担の増加への対応 スポーツ施設の不足及び既存施設等の有効活用 スポーツ施設のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の検討
			②スポーツ施設の整備推進(新規施設)	<ul style="list-style-type: none"> 東光スポーツ公園基本計画については、現状のスポーツ活動の状況や財源の見通しなどを踏まえ、今後の施設整備について検討を継続する。 屋内練習場などの新たな施設整備については、市民ニーズに対応し、市民のスポーツ活動が効果的・効率的に推進できるよう全市的な優先順位や施設配置のバランスなどを踏まえ検討を進める。 	⑩スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材	<ul style="list-style-type: none"> 新たに建設するスポーツ施設優先度の検討
	2	・スポーツ施設の利用促進	施設の利用率を高めるため、市民にとってより利用しやすい施設となるよう、利便性やサービスの向上を図る。	①スポーツ施設の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> 市民のスポーツ活動拠点の確保・サービス向上を推進するため、市と指定管理者などの施設管理者との連携をより一層強化することにより、市民の多様なニーズに対応した管理運営やサービスの提供を行うとともに、施設の利用促進を図る。 	⑩スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材
3	・スポーツに関する情報発信や相談機能の充実	市民が施設サービスや各種スポーツ大会やイベントなどのスポーツに関する情報にアクセスしやすくなるよう、情報発信や相談機能の充実を図る。	①スポーツに関する情報発信や相談機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> 市民の利便性を図るとともに、スポーツに親しみきっかけづくりとするため、デジタル技術などを活用し、スポーツに関する施設やイベント、スポーツ団体などの情報発信及び旭川市スポーツ協会や各施設における相談機能の充実を図る。 施設運営に係る財源確保と施設の知名度向上のため、現在、総合体育館と大雪アリーナで行っているネーミングライツを継続するとともに、導入施設の拡大について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ②スポーツ界におけるDXの推進 ⑩スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設の指定管理者との連携の強化 情報発信の強化